

# 一般社団法人 日本スポーツ用品工業協会(JASPO)

## 【設立許可日】

昭和49年11月27日

## 【目的】

スポーツに必要な用具、衣類等(以下「スポーツ用品」という。)の品質向上、安全性の確保を通じて、その生産及び貿易の改善合理化と利用消費の効率化を図り、もって我が国スポーツ用品産業の健全な発展と国民体育の増進に寄与することを目的とし、次の事業を行う。

## 【事業内容】

スポーツ用品に関する調査及び研究  
スポーツ用品に関する情報の収集及び提供  
スポーツ用品に関する規格、基準等の作成及び普及の増進  
スポーツ用品に係わる安全、効率的な利用消費に関する施策及び推進  
スポーツ用品に関する内外関係機関等との交流及び協力  
前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業

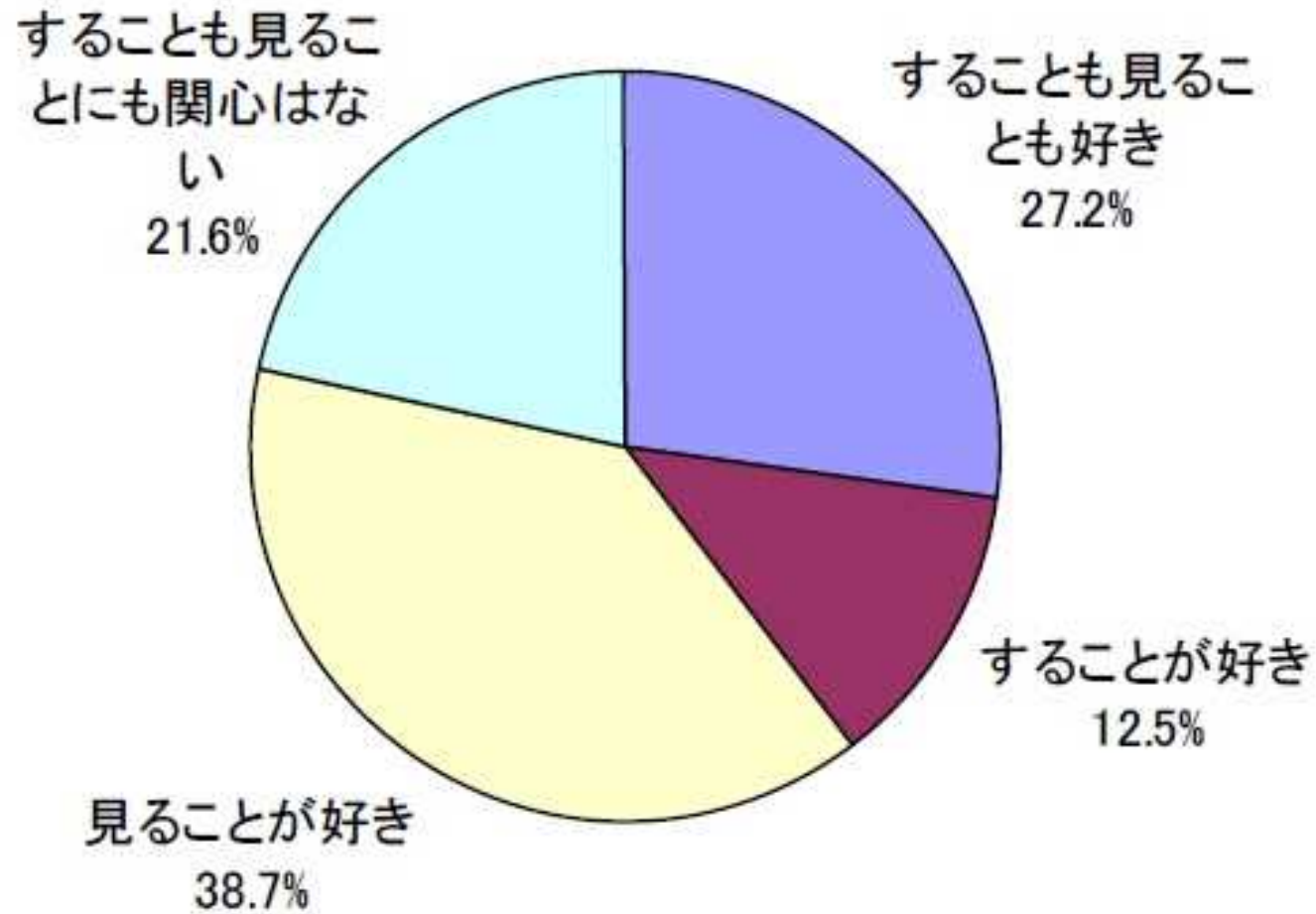


# 2013年スポーツマーケティング基礎調査

- スポーツ参加市場規模は約2.6兆円に縮小。「観戦」「用品購入」「施設利用・会費」市場全てが減少。
- スタジアム観戦の支出額：年間27,624円で、昨年より7%増。
- スポーツ関連メディア市場は2,297億円で、昨年より21%減。
- 最も好きなスポーツは野球。自分でするスポーツとして自転車の人気上昇。
- スポーツブランドでは、ナイキ、アディダスの海外ブランドが人気。
- 好きなスポーツ選手は10年連続でイチロー選手が1位。東北楽天の田中選手が3位へ躍進。
- プロ野球ファン人口は3,448万人に増加。東北楽天ゴールデンイーグルスのファンが増加し、12球団中4位に。Jリーグファンは1,216万人で減少傾向続く。
- 東京でのオリンピック開催に賛成が6割超。水泳、体操、マラソンに関心。



スポーツの位置付け (n=2,000) [単数回答]



### スポーツ参加市場規模

	年間平均支出額	市場規模	参考：2012年市場規模
スタジアム観戦市場	27,624円（7.2%） (n=451)	5,357億円	5,462億円
用品購入市場	24,769円（▲5.0%） (n=806)	8,664億円	8,897億円
施設利用・会費市場	44,639円（▲17.8%） (n=615)	1兆1,840億円	1兆5,155億円
市場規模の合計	—	2兆5,861億円	2兆9,514億円

(注) 年間平均支出額は、支出を行った人の平均支出額。

市場規模は15歳～69歳を対象とした市場。年齢階層別の平均支出額×年齢階層別人口×支出率を市場別に算出し合算。

年齢階層別人口には、総務省「住民基本台帳に基づく人口」を利用。( )内は昨年調査比。



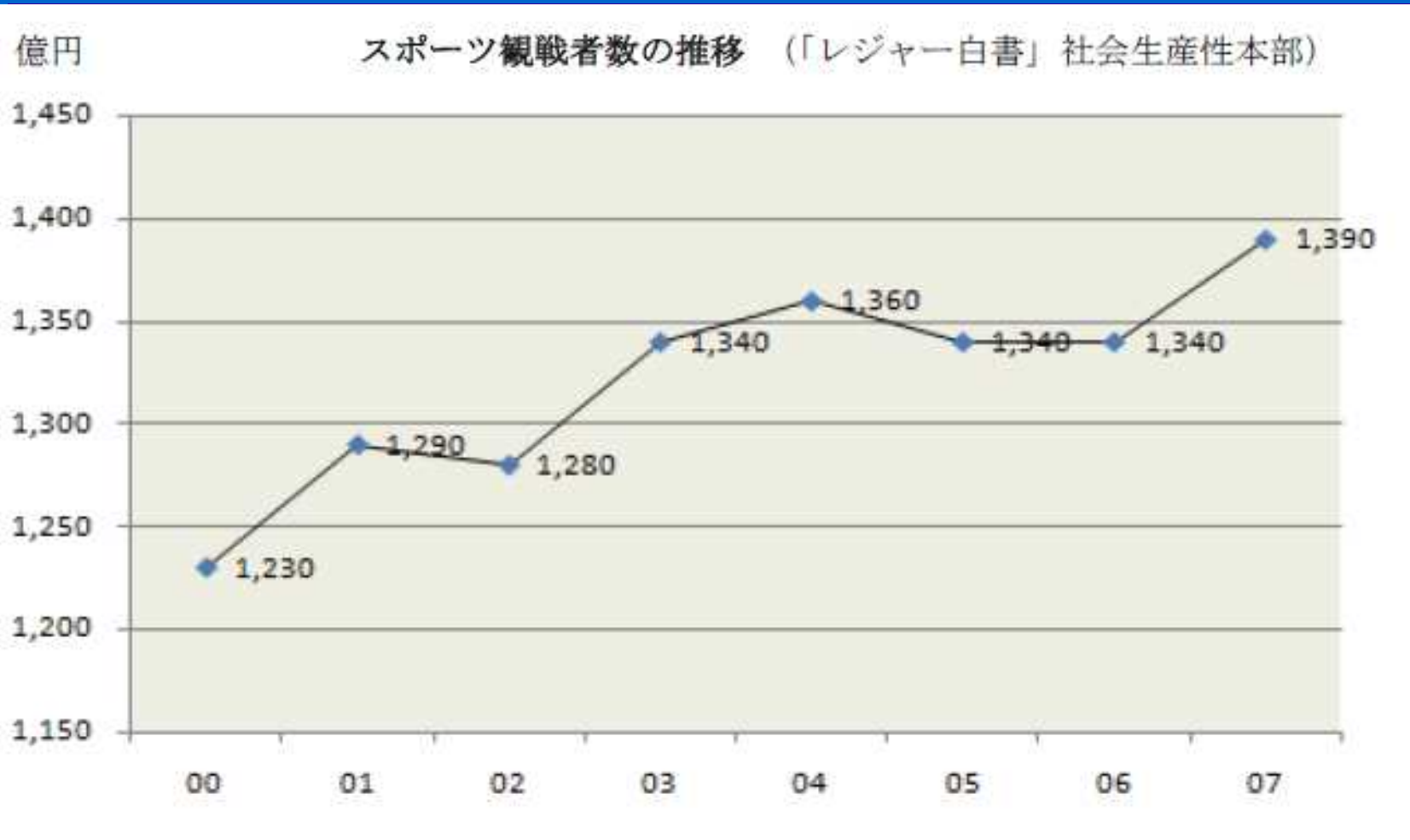
図表3. スタジアム観戦にかかる出費（チケット代、交通費、飲食費、グッズ費、記念品等費／n=451）

	一回あたりの金額	年間総額
チケット代	2,700 円 (▲7.3%)	9,344 円 (▲ 4.6%)
交通費	2,349 円 ( 15.3%)	8,772 円 ( 41.7%)
飲食費	1,676 円 (▲4.0%)	5,968 円 (▲ 0.1%)
グッズ費	555 円 (▲7.1%)	1,748 円 (▲23.3%)
記念品等費	598 円 ( 14.1%)	1,792 円 ( 17.1%)
合計	7,878 円 ( 0.8%)	27,624 円 ( 7.2%)

(注) ( ) 内は昨年調査比。



- 
- 
- 



- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
-

表3 スポーツ行動者率の推移

調査年	年齢	(%)						
		All segments	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-
1981 <sub>(n=80507)</sub>		42.14	65.51	56.49	41.72	23.07	16.41	12.70
1986 <sub>(n=89001)</sub>		74.39	89.52	86.53	77.94	64.78	57.30	45.65
1991 <sub>(n=90266)</sub>		76.34	90.15	87.23	81.44	70.71	62.28	48.80
1996 <sub>(n=95890)</sub>		73.14	86.07	84.67	78.13	70.59	61.23	45.47
2001 <sub>(n=99413)</sub>		69.92	81.54	79.07	75.08	68.91	63.57	46.57
2006 <sub>(n=101234)</sub>		62.98	74.51	70.30	69.49	62.60	61.84	40.54

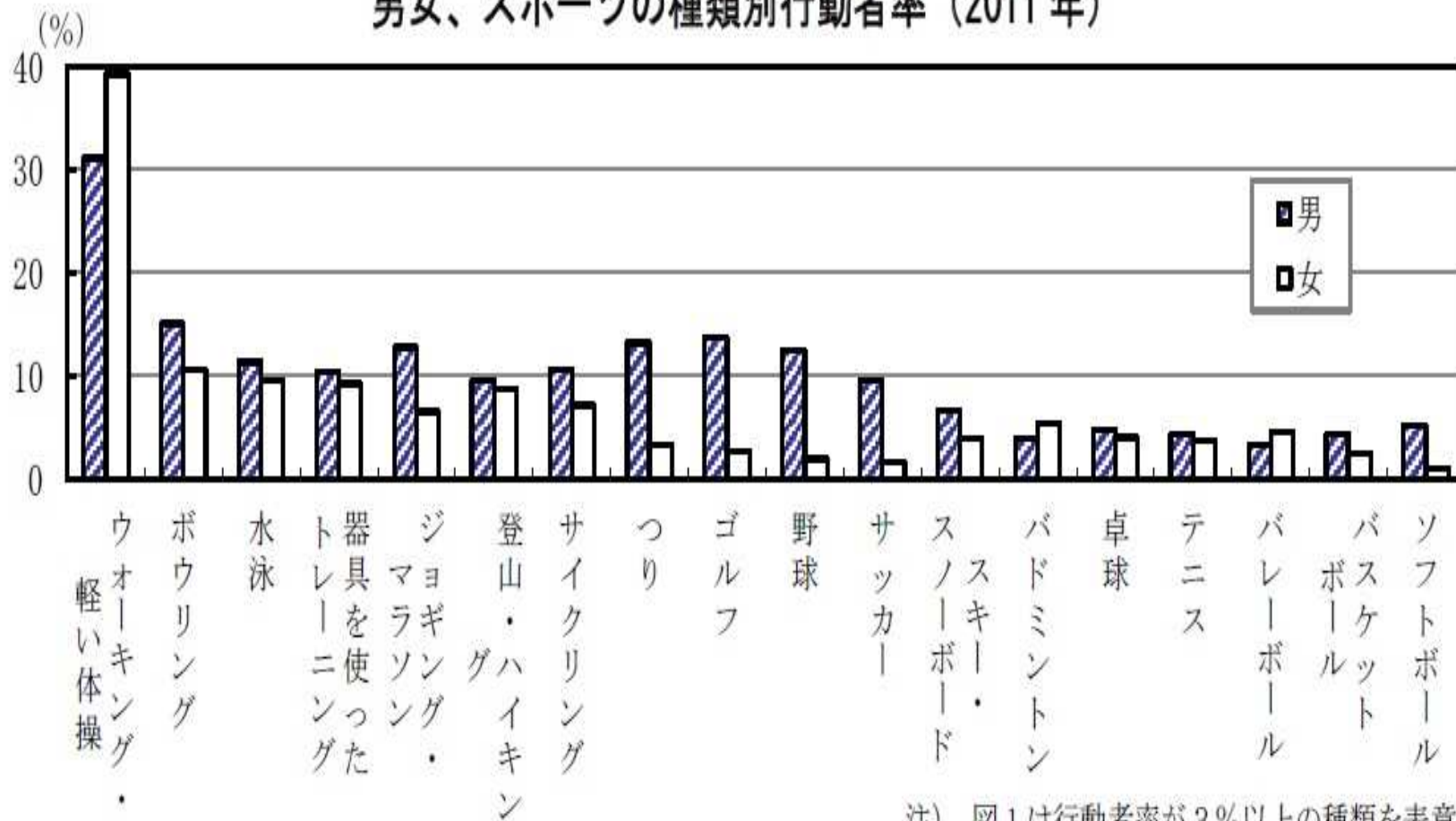
(注1)社会生活基本調査の公表値から算出した。ただし、社会生活基本調査の公表統計値には補正率が乗じられているため、本研究における統計値とは完全には一致しない。

(注2)n数の単位は1000

(注3)1981年調査ではスポーツ種目として「運動としての散歩」「ウォーキング」は示されていない。



## 男女、スポーツの種類別行動者率（2011年）



注) 図1は行動者率が3%以上の種類を表章。



### 年1回以上の実施率の推移（年代別）

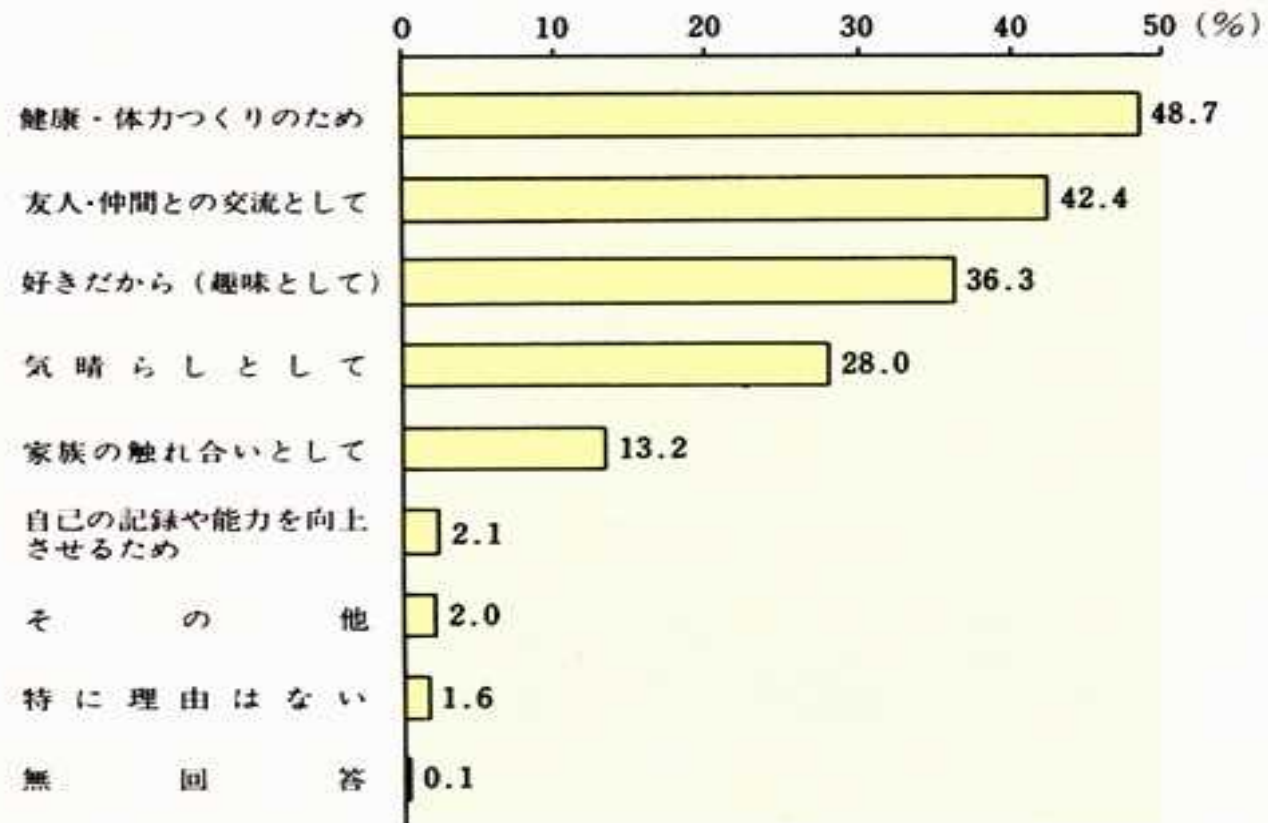


笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査報告書」（1998～2012）より作成



## スポーツを行う理由

図 I-1-4 スポーツを行う理由（一般社会人）



（注） 回答は二つ以内の複数回答。

（資料） 文部省「スポーツアンケート」（平成3年度）



# 運動用具製造業

分類	日本標準産業分類(平成19年[2007年]11月改定)＞製造業＞その他の製造業＞がん具・運動用具製造業＞運動用具製造業
説明	<p>主として運動用具を製造する事業所をいう。</p> <p>主な製品は、ゴルフ、テニス、ベースボール、フットボール、バスケットボール、ボクシング、スキー、スケート、卓球、玉突などの用具、備品及び運動場・体育館備品などである。</p> <p>ただし、運動用衣服類を製造する事業所は中分類11[1165, 1169]に、靴は使用材料によって中分類11[1189], 19[1921, 1922], 20[2041]に分類される。</p>
事例	<p>スポーツ用具製造業(衣類, 靴を除く); 運動用具製造業(衣類, 靴を除く); ゴルフクラブ製造業; なめし革製運動用具製造業; 玉突台・玉突用品製造業; 体育設備製造業(飛台, ろく木など); 釣ばお製造業; 釣針製造業; 空気銃製造業; 猟銃製造業; 猟銃実包用薬きょう製造業; ゴムボール製造業; びく製造業; 釣り用リール製造業; スキー用具製造業; ウインドサーフィン用具製造業; スケート(アイス, ローラ)製造業</p>



【帝国データバンクの産業分類表におけるスポーツ関連産業の分類】

# スポーツ関連産業

大分類	中分類	小分類	細分類
製造業	その他の製造業	がん具・運動用具製造業	運動用具製造業
卸売・小売業、飲食店	卸売業	スポーツ用品卸売業	スポーツ用品卸売業
	その他の小売業	スポーツ用品小売業	スポーツ用品小売業
サービス業	物品賃貸業	スポーツ・娯楽用品賃貸業	スポーツ・娯楽用品賃貸業
	娯楽業	スポーツ施設提供業およびフィットネスクラブ	スポーツ施設提供業(別掲を除く) 体育館 ゴルフ場 ゴルフ練習場 ボウリング場 テニス場 バッティング・テニス練習場 フィットネスクラブ

(出所) 帝国データバンクの産業分類 (URL : <http://www.tdb.co.jp/lineup/pdf/tic.pdf>)



# スポーツ用品製造・流通業

## 【国内企業の現状と主要海外ブランドの動向】

スポーツ用品製造・流通業は、日本標準産業分類では「スポーツ用衣服製造業」「運動用具製造業」「スポーツ用品・娯楽用品・がん具卸売業」「スポーツ用品小売業」に分類されている。

## 【製造業】

①自社ブランド製品の製造ならびに卸売・小売業向け販売、および  
②OEM(相手先ブランドによる生産)を行う。具体的な業務には、研究開発、企画、生産管理、販売、販売促進、広報・宣伝などがある。主たる企業にはミズノ、アシックス、デサント、ゴールドウイン、ヨネックス、モルテン、ミカサ、山本光学、東亜ストリングス、ゴルフ大手のSRIスポーツ(ダンロップ)、ブリジストンスポーツなどがあり、スポーツ用品一般を扱う「総合メーカー」と、特定の競技や分野に特化した「専門メーカー」がある。



# スポーツ用品製造・流通業

## 【国内企業の現状と主要海外ブランドの動向】

### 【輸出入業】

- ①海外ブランド製品の輸入・販売、および
- ②材料・部品の輸出入・販売を行う。具体的な業務には、スポーツ用品・材料・部品の買い付け、輸出入、販売、広報・宣伝、販売促進がある。主な企業には、総合もしくはスポーツ用品専門の商社や、**ナイキジャパン**、**アディダス ジャパン**など海外スポーツブランドの日本法人がある。ナイキジャパンとアディダス ジャパンは、国内での卸売や、一部で小売も行っている。

### 【卸売業】

海外ブランド・国内ブランド製品の国内小売企業向け販売を行う。主な業務は企画・仕入、販売、販売促進であり、主たる企業には**ゼット**、**エスエスケイ**、**アシックス商事**、**ザナックス**、**イモト**等がある。その中には自社ブランドで製造を行っている企業もある。



# スポーツ用品製造・流通業

【国内企業の現状と主要海外ブランドの動向】

【小売業】

海外ブランド・国内ブランド製品の店頭販売および学校などの法人向け販売を行う。主な業務は仕入、販売、販売促進であり、主たる企業にはゼビオ(ヴィクトリアを含む)、アルペングループ、ヒマラヤ、有賀園ゴルフ、ツルヤゴルフ、ニ木ゴルフ、加茂商事、B&Dなどがあり、「大規模・多店舗展開企業」と「種目別専門店」(ゴルフ・野球・テニス・アウトドア・球技・サッカー・陸上・水泳・卓球等)、「単店舗総合小売店」の3種類に大別される。いずれの業種にも管理業務(人事・総務・経理・法務・物流等)がある。



# スポーツ用品製造・流通業

## 【国内企業の現状と主要海外ブランドの動向】

近年、各業種の企業は、以上のような分類上の区分をまたいでビジネスを展開している。大規模小売業が製造・輸入を行ったり、製造業が卸・小売販売を行ったりするケースである。たとえば、**ミズノ**は製造・卸・小売を自社で一貫して行っている。**アシックス**も同様だが、卸機能のみ別会社が行っている。

一方、代表的な海外ブランドの日本法人である**ナイキジャパン**と**アディダス ジャパン**については、業績が未公開であるが、業界紙等の予測として両社とも売上高1000億円程度とされている。ナイキジャパンは米ナイキ社の100%連結会社で、同ブランドの生産・輸出入・販売(卸・小売)を行っている。日本への進出当初は、米国のシステムをそのまま持ち込んだため、日本の商慣行、流通システムに適応できずに失敗。しかし、流通政策を一新して適応を図ってからは、順調に業績を伸ばしている。従業員数は約800人。



- ・
- ・
- ・

# スポーツ用品製造・流通業

## 【国内企業の現状と主要海外ブランドの動向】

一方の**アディダス ジャパン**は、独アディダス社の100%連結会社であり、同ブランドの生産・輸出入・販売(卸・小売)を行っている。日本進出はナイキよりもはるかに早く、成功と失敗を繰り返しながら成長を遂げてきた。従業員数は約500人。どちらの外資系企業も日本の証券市場には非上場で、社内の公用語は主として英語である。定期採用はなく、必要に応じて募集している。



# スポーツ用品製造・流通業

## 【米国に次ぐ購買力のある日本市場への期待と課題】

経済の先行き不安、所得の伸び悩み、所得格差の拡大など経済的要因に加え、少子高齢化など社会構造の変化により、国民のスポーツ参加率がなかなか伸びない。

また、プロスポーツなどの「みるスポーツ」に対する消費支出は増加傾向にあるが、ゴルフ、スキーなどの「するスポーツ」については減少傾向にある。

その一方で、健康維持・増進、地域住民との交流などを目的にした生涯スポーツ(ライフタイムスポーツ)が注目されている。

そのため長期的には、スポーツ関連の消費支出は概ねゆるやかな拡大が予想される。ただし、その流れをより確実なものとするためにも、産官民が結束して、国民のスポーツ参加率を高め、需要の増大を図る、社会的ムーブメントを起こすことなどが求められる。



# スポーツ用品製造・流通業

【米国に次ぐ購買力のある日本市場への期待と課題】

【適正人材】

一見華やかなイメージのこの業界だが、仕事は地道かつ多岐にわたり、タフな面も多い。

したがって、どんな仕事にも前向きに取り組む、元気で明るい性格の人材が向いているといえる。業務経験を積みながら、自分の適性に合う仕事を見出せば、前途は明るい。

また、スポーツ経験というよりはスポーツ好きであることが不可欠である。企業が求める社会人としての基礎能力は当然身につけておくべきであり、スポーツマネジメントなど専門領域の習得はプラス要素となる。



## スポーツ団体・興行団の雇用と採用に関するデータ

競技団体やスポーツ興行団は、スポーツ産業の中核を担う産業であり、その経営はスポーツ産業全体の発展にとって重要なカギになる。また最近では、スポーツ団体や興行団への就職を希望する若者も増えてきた。そこで、2006年度からスポーツ団体・興行団を対象にアンケート調査を行い、その雇用や採用の実態を明らかにしてきた。本年度も6月～8月にかけて行った調査結果の一部をここに掲載させていただく。お忙しいなか、調査にご協力いただいた団体・企業のみならずには心よりお礼申し上げます。本調査の結果が、スポーツ団体・企業の経営や、就職を目指すみなさまの参考になれば幸いです。

### 調査概要

調査期間：2006年6月～8月

調査対象：日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本体育協会参加の競技団体(57団体)、企業スポーツリーグ事務局、プロ野球(12球団)、Jリーグ(33クラブ)、bjリーグ(12クラブ)、九州四国アイランドリーグ(6球団)、BCリーグ(6球団)および各リーグ事務局、合計136団体・企業。

回収率：全体32.4%、競技団体26.3%、リーグ事務局50%、プロ

野球球団58.3%、Jリーグクラブ21.2%、bjリーグクラブ

33.3%、アイランドリーグ球団50%、BCリーグ球団50%。

調査方法：電話でアポイントメントを行ったうえで調査票を郵送し、FAXおよびEメールで回収した。

調査項目：正規社員数、非正規社員数、アスレチックトレーナー数、過去1年間の新卒採用・中途採用人数、定期的な新卒・中途採用の有無、採用の際の評価ポイントなど。

- 備考・競技団体の「正規社員」には「常勤客員のうち事務局を兼務していない役員」を除く。  
 ・「非正規社員」とは、「契約・嘱託社員」「派遣社員」「アルバイト・パート」「業務委託(個人)」等であり、「ボランティア」や「インターン」は含まない。  
 ・「空欄」になっているところは記入がなかったことを意味する。  
 ・アスレチックトレーナーは、ご回答いただいた中で大宮アルディージャのみ正規社員で、あとは個人や企業への業務委託が多い。

法人名称	チーム名称	種類	所在地	正規社員数	うち女性の正規社員数	非正規社員数	社員数合計	アスレチックトレーナー数	過去1年間の正規採用数		定期採用		評価ポイント					
									新卒	中途	新卒	中途	A=評価する	B=やや評価する	C=あまり評価しない	D=評価しない	体育大学出身である	高校大学で運動部だった
(財)日本ソフトボール協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	7	3	0	7	—			×	×	C	C	C	C	C	B
(財)日本レスリング協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	5	1	6	11	—	0	0	×	×	B	B	A	C	B	B
(社)日本ライフル射撃協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	5	4	1	6	—			×	×	C	B	A	C	C	A
(社)日本近代五種・バイアスロン連合		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	1	0	0	1	—	0	0	×	×	B	B	C	B	B	A
(社)日本フェンシング協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	2	1	2	4	—	1		×	×	D	C	C	C	C	B
(社)日本ボート協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	2		4	6	—			×	×	C	B	B	B	C	B
(財)日本ゲートボール連合		競技団体	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-16 海洋船舶ビル2F	10	1	3	13	—			×	×	C	B	D	D	D	A
(財)全日本軟式野球連盟		競技団体	〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷4-27-7	4	3	1	5	—			×	×	B	B	A	B	B	B
(財)日本サッカー協会		競技団体	〒113-8311 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス10・11F	102	40	0	102	—	0		×	×	D	D	C	C		A
(財)日本ハンドボール協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	6	2	3	9	—	0	0	×	×	C	C	C	C	C	B
(財)日本テニス協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	12	6	6	18	—	2		×	×	B	B	C	B	A	A
(財)日本ウェイトリフティング協会		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内	1		1	2	—			×	×	C	C	C	A	B	A



法人名称	チーム名称	種類	所在地		正規社員数	うち女性の正規社員数	非正規社員数	社員数合計	アスレチックトレーナー数	過去一年間の正規採用数		定期採用		評価ポイント A=評価する B=やや評価する C=あまり評価しない D=評価しない					
										新卒	中途	新卒	中途	体育大学出身である	高校大学で運動部だった	当該競技の経験がある	5年以上選手経験がある	当該競技でのインターシップ経験がある	競争力がある
(社)日本綱引き連盟		競技団体	〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内		2	1	0	2	—	0	0	×	×	B	B	C	B	C	A
(財)日本ラグビーフットボール協会		競技団体	〒107-0061 東京都港区北青山 2-8-35		19	8	14	33	—		4	×	×	C	C	B	B	C	A
バスケットボール女子日本リーグ機構	リーグ事務局	リーグ事務局	〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町 2-1 渋谷ホームズ 1408号		2	1	1	3	—		1	×	×	D	C	B	A	A	A
(株)千葉ロッテマリーンズ	千葉ロッテマリーンズ	プロ野球	〒261-8587 千葉県美浜区美浜 1番地		31	7	45	76	10	0	0	×	×	C	C	B	B	B	B
(株)北海道日本ハムファイターズ	北海道日本ハムファイターズ	プロ野球	〒062-0045 北海道札幌市豊平区羊が丘 1番地		54	19	43	97	8		2	×	×	D	C	C	B	B	B
(株)楽天野球団	楽天ゴールデンイーグルス	プロ野球	〒983-0045 宮城県仙台市宮城野区宮城野 2-11-6		72	13	58	130		0	20	×	×	D	D	D	C	B	A
(株)西武ライオンズ	西武ライオンズ	プロ野球	〒350-1153 埼玉県所沢市上山口 2135		59	10	19	78		0	1	×	×	C	C	C	B	B	A
オリックス野球クラブ(株)	オリックス・バファローズ	プロ野球	〒530-0003 大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 8F		56	21	61	117	9		4	×	×	C	C	C	B	B	C
福岡ソフトバンクホークス(株)	福岡ソフトバンクホークス	プロ野球	〒810-8660 福岡県福岡市中央区地行浜 2丁目2番2号		49	11	0	49	10		2	×	×	C	C	B	B	B	A
ソフトバンクホークスマーケティング(株)	福岡ソフトバンクホークス	プロ野球	〒810-8660 福岡県福岡市中央区地行浜 2丁目2番2号		170	63	227	397	—		9	○	×	特に募集職種における経験以外に評価する条件はありません。					
(株)読売巨人軍	読売巨人軍	プロ野球	〒100-8151 東京都千代田区大手町 2-1-1 大手町野村ビル7階		54	14	91	145	9	1	1	○	×	C	B	B	B	B	B
(株)ヤクルト球団	ヤクルトスワローズ	プロ野球	〒105-0004 東京都港区新橋 5-13-5 新橋 MVC ビル 5F					58				×	×	C	C	B	B	C	C
(株)鹿島アントラーズ	鹿島アントラーズ	Jリーグ	〒314-0021 茨城県鹿嶋市栗生東山 2887		23	4	8	31	1		1	×	×	B	A	A	A	A	A
エヌ・ティ・ティ・スポーツコミュニティ(株)	大宮アルディージャ	Jリーグ	〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町 1-20-1 大宮中央ビルディング		2	2	4	6	4	1	2	×	×	C	B	C	C	B	C
(株)大分フットボールクラブ	大分トリニータ	Jリーグ	〒870-0126 大分県大分市大字横尾 1629番地		21		32	53	3			×	×	C	C	C	B	B	A
(株)ベガルタ仙台	ベガルタ仙台	Jリーグ	〒980-0014 仙台市青葉区本町 3-6-16 漁信基ビル 4F		13	8	5	18	3			×	×	D	B	C	C	C	B



法人名称	チーム名称	種類	所在地		正規社員数	うち女性の正規社員数	非正規社員数	社員数合計	アシレックトレーナー数	過去一年間の正規採用数				定期採用		評価ポイント A=評価する B=やや評価する C=あまり評価しない D=評価しない					
										新卒	中途	新卒	中途	体育大学出身である	専攻大学で運動部だった	当該競技の経験がある	当該チームの経験がある	当該チームの経験がある	経験がある		
(株)フットボールクラブ水戸ホーリーホック	水戸ホーリーホック	Jリーグ	〒310-0852 水戸市笠原町 136-1		8	3	1	9	2	1	3	×	×	D	D	D	D	D	D		
(株)湘南ベルマーレ	湘南ベルマーレ	Jリーグ	〒254-0026 神奈川県平塚市中堂 3489-1-12-25		14	4	4	18	3			×	×	C	B	B	B	C	B		
株式会社アスリートクラブ熊本	ロアッソ熊本	Jリーグ	〒862-0911 熊本県熊本市健康3丁目3-5 八木運送ビル1F		11	1	2	13	2	0	2	×	×	C	C	B	B	B	D		
(株)日本プロバスケットボールリーグ	リーグ事務局	bjリーグ	〒108-0014 港区芝 4-10-1 ハンファビル 2F		20	4	7	27	—		3	×	×	C	C	B	B	B	B		
(株)仙台スポーツリンク	仙台 89ers	bjリーグ	〒980-0811 仙台市青葉区一番町 2-8-18 仙台中央ビル 7F		10	2	1	11	1	1	1	×	×	D	B	B	B	C	C		
(株)大分バスケットボール・コミュニケーション	大分ヒートデビルズ	bjリーグ	〒874-0905 大分県別府市上野口町 28 番 2 号 サン青山 2F		9	3	0	9	1	1	2	×	×	C	C	C	A	A	A		
沖縄バスケットボール (株)	琉球ゴールデンキングス	bjリーグ	〒901-0152 沖縄県那覇市宇小保 1831 番地 1 沖縄産業支援センター 403 号室		7	2	1	8	1		2	×	×	C	C	B	B	B	B		
(株)滋賀レイクスターズ	滋賀レイクスターズ	bjリーグ	〒520-0801 滋賀県大津市におの浜 4-7-5 オブテックスにおの浜ビル 3 階		5	1	2	7	1	1		×	×	C	B	C	B	B	B		
(株)ジャパン・ベースボール・マーケティング	リーグ事務局	BC リーグ	〒950-0916 新潟県新潟市中央区米山 2丁目4番地1 木山第3ビル		6		1	7	—		2	×	×	B	B	A	B	A	B		
(株)長野県民球団	信濃グランセローズ	BC リーグ	〒380-0928 長野市若里 6-3-22-6F		2	1	4	6	法人契約			×	×	C	C	B	B	B	C		
(株)群馬スポーツマネジメント	群馬ダイヤモンドベガサス	BC リーグ	〒370-0002 群馬県高崎市日高町 162		1		2	3	1		2	×	×	B	A	A	B	B	B		
(株)富山サンダーバズベースボールクラブ	富山サンダーバズ	BC リーグ	〒930-0813 富山県富山市下赤江町 1 丁目 12-21		4	1	3	7	1			×	×	B	B	B	A	C	C		
(株)IBLJ	リーグ事務局	アイランドリーグ	〒760-0029 香川県高松市丸亀町 7-10 丸亀町第3ビル 4F		3	1	5	8	—		1	×	×	C	C	C	C	C	A		
香川オリブガイナース球団(株)	香川オリブガイナース	アイランドリーグ	〒760-0029 香川県高松市丸亀町 7-10 丸亀町第3ビル 3F		3	1	2	5			2	×	×	C	C	C	C	C	A		
高知ファイティングドッグス球団(株)	高知ファイティングドッグス	アイランドリーグ	〒780-0087 高知県高知市南久保 13-17		4	0	3	7	1	0	4	×	×	B	C	B	A	B	A		
(株)県民球団長崎セインツ	長崎セインツ	アイランドリーグ	〒857-0862 長崎県佐世保市白南風町 1-13 JRビル1F		3		0	3			3	×	×	D	D	D	B	A	B		



スポーツ用品業界 基本情報(平成24-25年版)

業界規模:7,906億円

経常利益計:823億円

売上高純利益率:+5.5%

過去5年の伸び率:+1.1%

総資産額:9,489億円

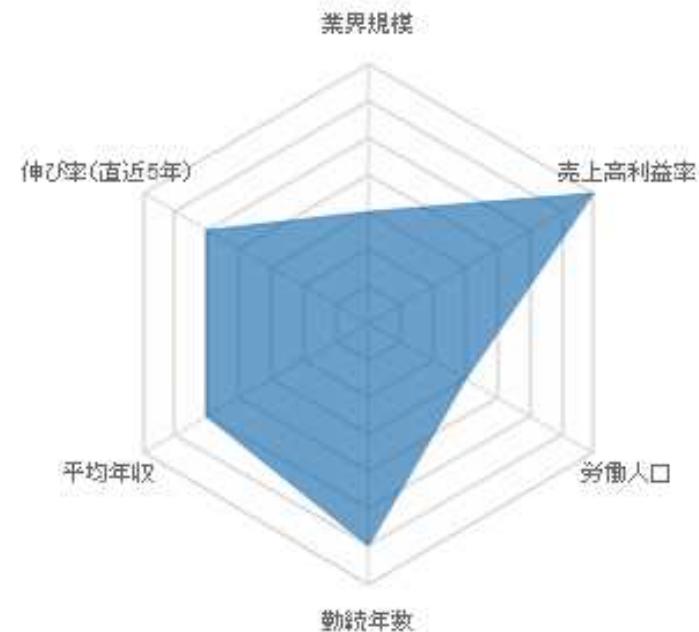
労働者数:8,547人

平均年齢:40.4歳

平均勤続年数:14.8年

平均年収:577万円

(平成24年7月-平成25年6月 決算)



用語・グラフの意味

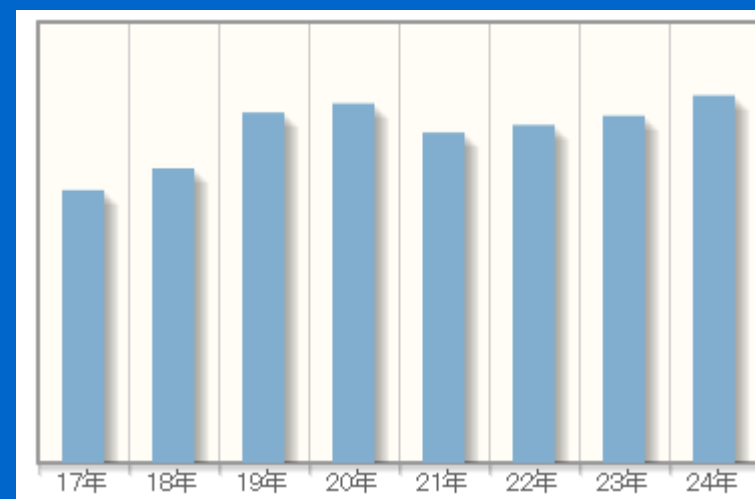
業界規模は下記対象企業一覧(スポーツ用品)11社の売上高の合計を表しています。過去5年の伸び率は過去5年間の業界規模の対前年比の平均値を表したものです。経常利益計、売上高純利益率、総資産額、労働者数、平均年齢、平均勤続年数、平均年収は下記対象企業一覧それぞれの合計もしくは平均を表したものです。グラフは各指標を7段階に分け視覚化したものです。



# 近年のスポーツ用品業界の現状と動向

スポーツ用品業界の規模の推移  
を見ることでその市場の大まかな  
現状や動向を把握することができる。

平成24-25年のスポーツ用品業  
界の業界規模(主要対象企業11  
社の売上高計)は7,906億円。



【業界規模の推移】



会社名	売上高（百万円）	従業員数（人）	資本金（百万円）	決算期	主要事業内容
ダンロップスポーツ	37,660	335	9,207	12月	ゴルフ用品、テニス用品
ヨネックス	36,167	1,153	4,707	3月	ゴルフ用品、テニス用品
グローブライト	32,196	624	4,184	3月	釣用品、スポーツ用品
遠藤製作所	9,823	228	1,242	3月	ゴルフ用品、自動車等鍛造部品、
ミカサ	6,590	128	120	11月	球技用ボール等のスポーツ用品
マルマン	6,574	147	1,047	9月	ゴルフ用品
がまかつ	4,857	143	50	12月	釣用品
タマス	4,928	110	99	10月	卓球用品
日本シャフト	3,600	147	390	3月	ゴルフシャフト、スポーツ用品
グラフィイトデザイン	3,596	111	590	2月	ゴルフシャフト
ミズノインダストリー 一波賀	3,317	44	30	3月	スポーツ用品
サンライン	2,788	172	96	1月	釣用品
バスディ	1,296	42	10	5月	釣用品
東亜ストリング	1,146	108	30	2月	テニス、バトミントン、釣用品



会社名	売上高(百万円)	従業員数(人)	資本金(百万円)	決算期	主要事業内容
美津濃	123,513	1,941	26,137	3月	スポーツ用品
アシックス	70,262	1,464	23,972	3月	スポーツシューズ、スポーツウェア、スポーツ用具
デサント	55,462	734	3,846	3月	アスレチックウェア、ゴルフウェア、アウトドアウェア
エスエスケイ	47,037	558	98	7月	野球用品、球技用品
ゴールドウィン	42,100	1,199	10,416	3月	アウトドアスタイル関連、アスレチックス関連
ゼット	35,951	383	1,005	3月	スポーツ用品
ブリジストンスポーツセールスジャパン	26,370	354	100	12月	ゴルフ用品、テニス用品
ジャパーナ	26,200	163	50	6月	スキー、キャンプ、ゴルフ
ニッキー	13,343	124	200	6月	スポーツウェア
モンベル	12,297	180	20	3月	アウトドア用品
イモト	12,007	150	50	8月	スポーツウェア、シューズ、グッズ用品
アメアスポーツジャパン	10,601	175	495	12月	スポーツ用品
ヒロウン	5,663	95	98	6月	スポーツ用品、体育用品



会社名	売上高（百万円）	従業員数（人）	資本金（百万円）	決算期	主要事業内容
アルペン	195,093	2,645	15,163	6月	一般的なスポーツ・ゴルフ・ ウィンタースポーツ用品
ゼビオ	133,015	924	15,935	3月	スポーツ用品・用具
ヒマラヤ	53,096	740	2,544	8月	一般スポーツ用品、ゴルフ・ スキー用品、スノーボード、 アウトドア用品
つるや	21,476	653	90	7月	ゴルフ用品
ベルガディア	20,373	385	10	2月	アウトドア用品
二木ゴルフ	18,743	407	80	2月	ゴルフ用品
ゴルフダイジェスト・オン ライン	12,055	247	825	12月	リテールビジネス、ゴルフ場 ビジネス
オッシュマンズ・ジャパン	6,831	117	2,500	2月	サーフボード、スノーボード
タケダスポーツ	6,140	122	50	8月	スポーツウェア、スキー用品
モリヤマスポーツ	5,486	90	30	5月	スノーボード、スキー



- 
- 
- 

## ランニング、アウトドアブームを背景に堅調な推移

スポーツ用品業界(製造)の過去の推移を見ると、平成17年から20年にかけて上昇傾向。平成20年から平成21年に下落に転じたが、平成22年以降は若干の増加傾向。

近年のスポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心やランニングブームなどを背景に堅調な推移を見せている。特にランニング人気は根強く、ランニングシューズや関連ウェアなどの売れ行きは好調で、初心者にとどまらず、中上級者向けの高価格帯商品の売れ行きも好調。

また、登山などアウトドア用品の需要も伸びている。こちらは団塊の世代など60代を中心にブームとなっており、こちらもランニング同様に根強い人気がある。

一方、ゴルフは接待の減少や若年層のゴルフ離れなどを背景に、ゴルフ人口は大幅に減少。また、野球やテニス、サッカーなどもすでに少子化の影響を受けており、縮小傾向となっている。



- 
- 
- 

加速する海外展開 一方、海外ではナイキ、アディダスなど強豪がひしめく

国内のスポーツ用品業界は今後、少子化による縮小傾向。  
現在は、比較的元気なシニア層が業界を支えているが、数十年後も同じ状況が続くとは限らない。  
こうした動向を受け、スポーツ用品メーカー各社は海外へと活路を見出している。

国内首位のアシックスは米州、欧州、オセアニア、東アジア地域で展開。  
アシックスの海外売上高はこの10年で2倍以上に増加。

また、2位のミズノも欧州、米州、アジア地域で展開。3位のデザートも韓国を中心にアジアで展開。今後はシンガポールの現地法人を拠点に南アジアへの進出を目指す。



- 
- 
- 

加速する海外展開 一方、海外ではナイキ、アディダスなど強豪がひしめく

このように、国内のスポーツメーカーは海外に積極的に展開しており、グローバル化は進んでいると言える。

しかしながら、海外には強豪が多数存在し、日本勢のシェアは決して高いとは言えない。

米国スポーツ用品首位のナイキの売上高は241億ドル、アディダスは192億ドルと国内首位のアシックスの10倍ほどの売上高を誇っている。

知名度、ブランド力、資本力ともに国内メーカーを圧倒しており、海外でのシェアは大きく差を広げられている。

国内での縮小トレンドが見られる今後、スポーツ用品各社には海外へのさらなる展開やブランド力の強化が期待される。



・  
 ・【売上高】

	企業名	売上高 (億円)	売上高 シェア※	スポーツ用品業界 売上高シェアグラフ
1	アシックス	2,601	32.9%	
2	ミズノ	1,636	20.7%	
3	デサント	919	11.6%	
4	ダンロップスポーツ	617	7.8%	
5	グローブライド	594	7.5%	
6	ゴールドウィン	525	6.6%	
7	シマノ	472	6.0%	
8	ヨネックス	385	4.9%	
9	遠藤製作所	97	1.2%	
10	グラフィイトデザイン	34	0.4%	

年)



## 【経常利益】

順位	企業名	経常利益(億円)
1	シマノ	395
2	アシックス	205
3	デザート	56
4	ダンロップスポーツ	42
5	ミズノ	40
6	ゴールドウィン	31
7	グローブライド	24
8	ヨネックス	18
9	遠藤製作所	11
10	グラフィイトデザイン	6.1
11	マルマン	0.1

成24-25年)



- 
- 
- **【純利益】**

順位	企業名	純利益(億円)	
1	シマノ	274	
2	アシックス	137	
3	デザート	35	
4	ゴールドウイン	26	
5	ミズノ	19	
6	グローブライド	19	
7	ダンロップスポーツ	16	
8	グラフィイトデザイン	12	
9	ヨネックス	6.9	
10	遠藤製作所	4.8	
11	マルマン	-0.4	

成24-25年)



- 
- 
- **【利益率】**

成24-25年)

順位	企業名	利益率(%)
1	👑 グラファイトデザイン	35.3
2	👑 シマノ	11.1
3	👑 アシックス	5.3
4	4 ゴールドウイン	5.0
5	5 デサント	3.8
6	6 グローブライド	3.2
7	7 遠藤製作所	2.8
8	8 ダンロップスポーツ	2.6
9	9 ヨネックス	1.8
10	10 ミズノ	1.2
11	11 マルマン	-0.6



# 【総資産】

成24-25年)

順位	企業名	総資産(億円)	
1	シマノ	2,577	
2	アシックス	2,447	
3	ミズノ	1,509	
4	デサント	752	
5	ダンロップスポーツ	537	
6	グローブライド	529	
7	ゴールドウイン	451	
8	ヨネックス	389	
9	遠藤製作所	186	
10	マルマン	70	
11	グラフィイトデザイン	42	



- 
- 
- 【従業員数】

順位	企業名	従業員数(人)
1	ミズノ	1,931
2	ゴールドウイン	1,304
3	シマノ	1,155
4	ヨネックス	1,143
5	アシックス	794
6	デサント	747
7	グローブライド	622
8	ダンロップスポーツ	362
9	遠藤製作所	224
10	マルマン	156
11	グラフィイトデザイン	109

グ (平成24-25年)




- ・
- ・ 【勤続年数】

順位	企業名	勤続年数(年)
👑	グローブライド	18.8
👑	ミズノ	18.7
👑	シマノ	17.5
4	デサント	17.2
5	ダンロップスポーツ	15.7
6	ヨネックス	15.5
7	アシックス	13.3
8	遠藤製作所	13.1
9	マルマン	13.0
10	ゴールドウイン	10.7
11	グラフィイトデザイン	9.5

グ(平成24-25年)



- 
- 
- 【平均年収】

順位	企業名	平均年収(万円)	
👑	シマノ	815	
👑	ダンロップスポーツ	687	
👑	アシックス	653	
4	グローブライド	619	
5	ミズノ	614	
6	デザート	595	
7	マルマン	533	
8	ヨネックス	475	
9	遠藤製作所	464	
10	グラフィイトデザイン	458	
11	ゴールドウイン	438	

平均年収(平成24-25年)



会社名	売上高(百万円)	市場占有率(%)	会社名	売上高(百万円)	市場占有率(%)
ダンロップスポーツ ☆	37,660	9.89	ミカサ	6,590	1.73
ヨネックス ☆	36,167	9.50	ダンロップゴルフ ラブ	6,500	1.71
グロープライド ☆	32,196	8.45	マルマン ☆	6,372	1.67
ブリジストンスポーツ	30,094	7.90	エムアールシーコン ポジットプロダクツ	5,000	1.31
ファイテン	12,100	3.18	がまかつ	4,857	1.28
本間ゴルフ	11,478	3.01	タマス	4,631	1.22
遠藤製作所	9,823	2.58	富士工業	4,000	1.05
セノー	9,778	2.57	シマノ熊本	3,800	1.00
ミロク製作所	7,300	1.92	日本シャフト	3,603	0.95
ミズノテクニクス	7,213	1.89	479社売上高合計	380,839	
ゼットクリエイト	6,999	1.84			

(注) 表5において☆印は、有価証券報告書の損益計算書から、「研究開発費」のデータが入手できる会社であることを示している。なお、帝国データバンクから入手した運動用具製造業の有価証券報告書が入手できる14社のうち、「研究開発費」のデータについては、上表の☆印以外にグラフィイトデザイン社を加えた5社で



会社名	売上高 (百万円)	市場占有率 (%)	会社名	売上高 (百万円)	市場占有率 (%)
美津濃	123,513	10.35	ドーム	14,258	1.19
アシックス	70,262	5.89	ニッキー	13,343	1.12
デサント	55,462	4.65	モンベル	12,297	1.03
エスエスケイ	47,037	3.94	イモト	12,007	1.01
ゴールドウイン	42,100	3.53	キャロウェイゴルフ	11,518	0.97
ブーマジャパン	38,800	3.25	アメアスポーツジャパン	10,601	0.89
ゼット	35,951	3.01	アシックス中部販売	10,000	0.84
ブリジストンスポーツ セールスジャパン	26,370	2.21	コールマンジャパン	10,000	0.84
ジャバーナ	26,200	2.20	三共スポーツ	9,867	0.83
ダンロップスポーツマ ーケティング	26,049	2.18	1390社売上高合計	1,193,217	
テラーメイトゴルフ	24,000	2.01			



会社名	売上高(百万円)	市場占有率(%)	会社名	売上高(百万円)	市場占有率(%)
アルペン	195,093	15.09	シラトリ	12,800	0.99
ゼビオ	133,015	10.29	ゴルフダイジェスト・オンライン	12,055	0.93
メガスポーツ	63,000	4.87	ICI石井スポーツ	11,096	0.86
ヒマラヤ	53,096	4.11	かめや釣具	9,010	0.70
ヴィクトリア	30,667	2.37	ピーアンドディー	8,511	0.66
上州屋	22,800	1.76	カムイ	8,300	0.64
つるや	21,476	1.66	有賀園ゴルフ	7,190	0.56
ベルガディア	20,373	1.58	オッシュェマンズ・ジャパン	6,831	0.53
タカミヤ	18,900	1.46	加茂商事	6,591	0.51
ニ木ゴルフ	18,743	1.45	4789社売上高合計	1,293,209	
ゴルフパートナー	15,213	1.18			



- 
- 
- 

